



学校だより

No.522

令和 3年 4月 6日
練馬区立田柄第二小学校
校長 岩井 一雄

教育目標 : 元気な子ども ・ 考える子ども ・ 思いやる子ども

よろしくお願ひします。

校長 岩井 一雄

桜の花の下で、子供たちが元気に遊んでいます。50年の歴史を刻んだ校舎は明るく、きれいに整えられています。令和3年度の新学期がスタートします。

わたくしは、4月1日付けをもちまして練馬区立北原小学校より異動、着任いたしました。練馬区で育ち、練馬区の小学校での諸体験が原点となり、教員を志しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校は、昨年創立50周年を終え、素晴らしい教育を実践していると伺っております。周辺は緑豊かで落ち着いた街であり、練馬大根の栽培など特色ある教育活動、地域に根差した教育が盛んで成果を上げてきたとも伺っています。わたくしは、今まで築かれた良い校風をしっかりと受け継ぎ、さらに発展させるように微力ではありますが、精一杯努めてまいります。

地域で植木を育てている方もいらっしゃると思いますが、植木屋さんが庭木の枝の手入れをするときは、どの葉にも日がよく当たるように考え、枝を払うのだそうです。ひと葉ひと葉に気を配り、庭木をわが子のように思いやり深く扱うのだと聞きました。

新年度を迎える準備を進める中で、一人一人の教職員が一人一人の子供を思い浮かべ、賢明に気を配っている様子が見え、わたくしは信頼を寄せています。よく引き継げるかどうか心配ではありますが、保護者の皆様や地域の方々のご支援とご協力を得て、懸命に努力したいと思ひます。植木屋さんが庭木のひと葉ひと葉を愛するように、わたくしも一人一人の子供たちに目を配り、自分の足で校内をめぐり、小さな変化に気づけるように意を尽くしてまいりたいと思ひています。とは申しましても、もともと至らぬわたくしのことでありますので、足りない点もあろうかと存じます。そのようなときは、共に子供たちをより良く育むにはどのように力を合わせたら良いか、という視点で、連携してまいりたいと思ひます。

子供たちや保護者の皆様、地域の方々、教職員から慕われ素晴らしい学校に育てていただいた前任の谷田弘子校長先生に寄せられたご支援と同様に、今後ともご指導、ご協力をいただけますよう、ひとえにお願ひいたしまして、言葉が足りないながら、ご挨拶にかえさせていただきます。